

- ・ 富山地方鉄道本線のあり方
- ・ 公共施設使用料の見直し

意見交換会

5月11日（月）
ありそドーム研修室

5月14日（木）
新川文化ホール201会議室

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 富山地方鉄道本線のあり方 （意見交換）
- 4 公共施設使用料の見直し （意見交換）
- 5 閉会



富山地方鉄道本線のあり方



- ① 富山地方鉄道の路線図
- ② 富山地方鉄道(株) 鉄道事業の状況
- ③ 鉄道インフラの整備・更新
- ④ 富山地方鉄道の利用状況
- ⑤ 運行パターンごとの検討
- ⑥ 魚津市から富山地方鉄道への支援について
- ⑦ 本線のあり方について



魚津市役所
都市計画課

富山地方鉄道に関するこれまでの経緯

- ・ 令和6年9月 富山地方鉄道(株)・沿線市町村首長会議
沿線7市町村による県知事要望
「富山地方鉄道鉄道線の維持・活性化に関する要望書」
- ・ 令和6年11月 第1回富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会 (県、沿線7市町村、地鉄)
- ・ 令和7年2月 第2回富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会 (県、沿線7市町村、地鉄)
- ・ 令和7年7月 第1回本線分科会 (県、本線沿線4市町、地鉄)
- ・ 令和7年8月 第3回富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会 (書面開催)
- ・ 令和7年10月 市長のタウンミーティング (検討状況を報告)
- ・ 令和7年11月 第2回本線分科会 (県、本線沿線4市町、地鉄)
- ・ 令和7年12月 第4回富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会 (県、沿線7市町村、地鉄)
- ・ 令和8年3月 第3回本線分科会 (県、本線沿線4市町、地鉄)

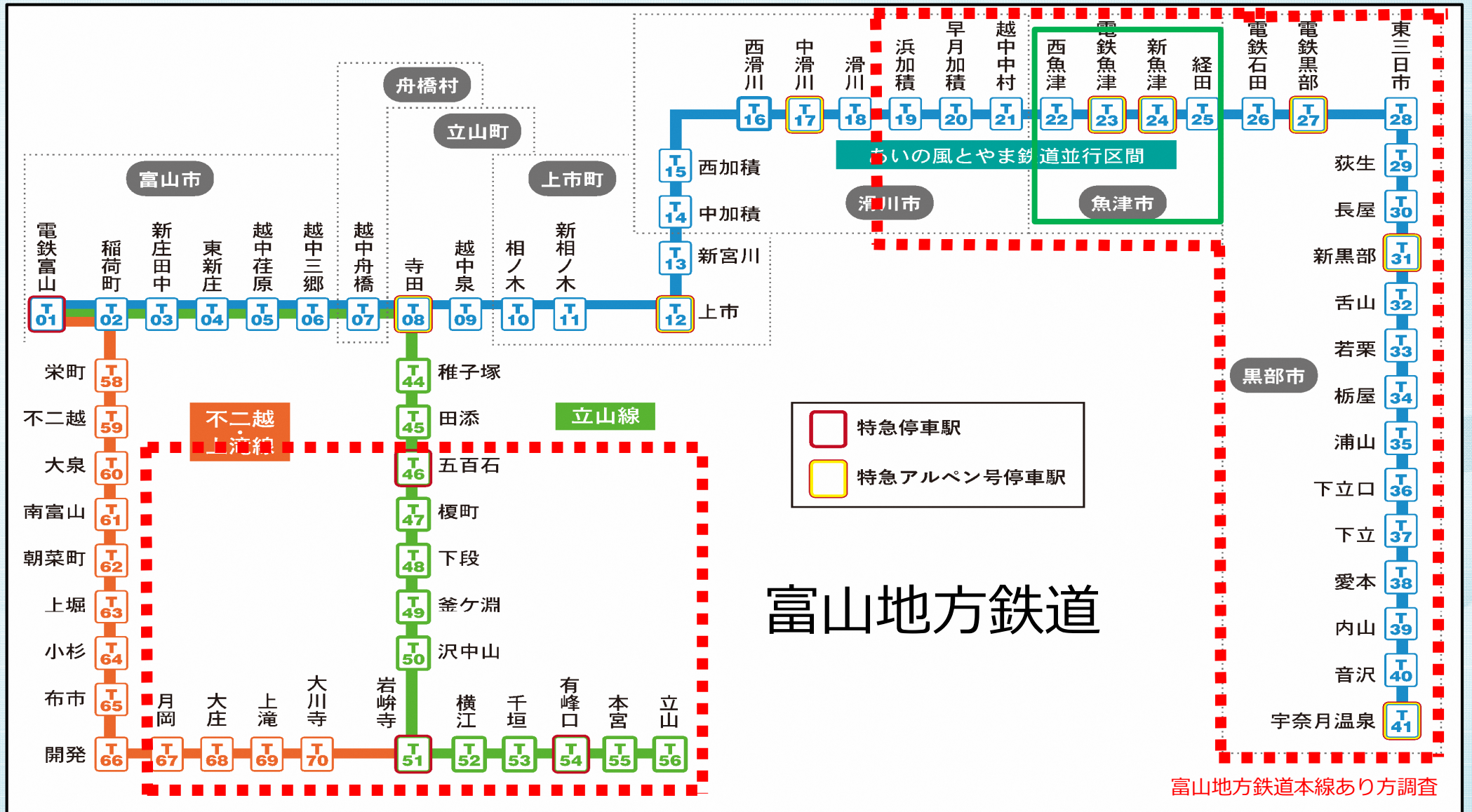
➔ 【本日】 富山地方鉄道本線のあり方 意見交換会

① 富山地方鉄道の路線図

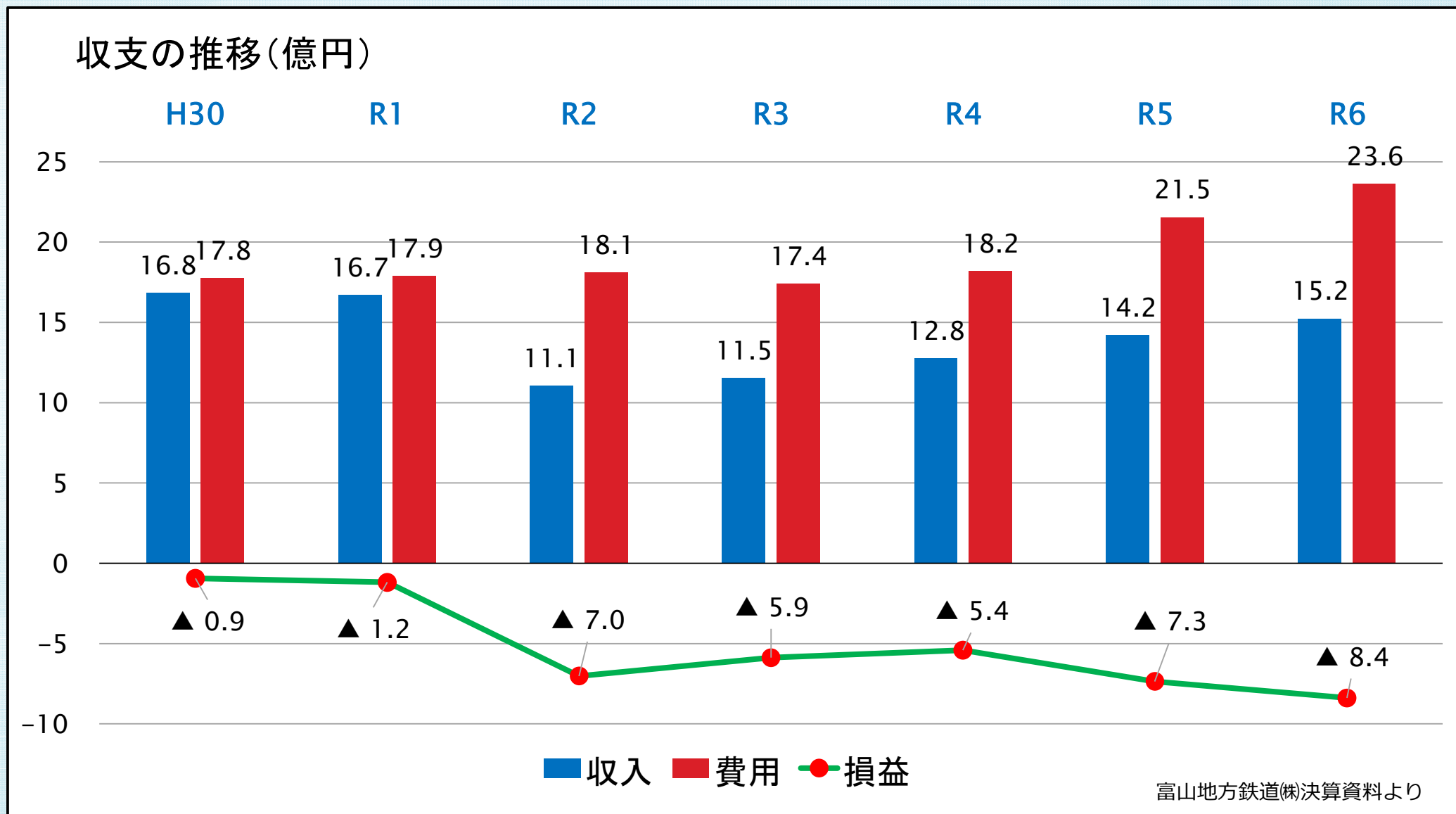


富山地方鉄道本線あり方調査

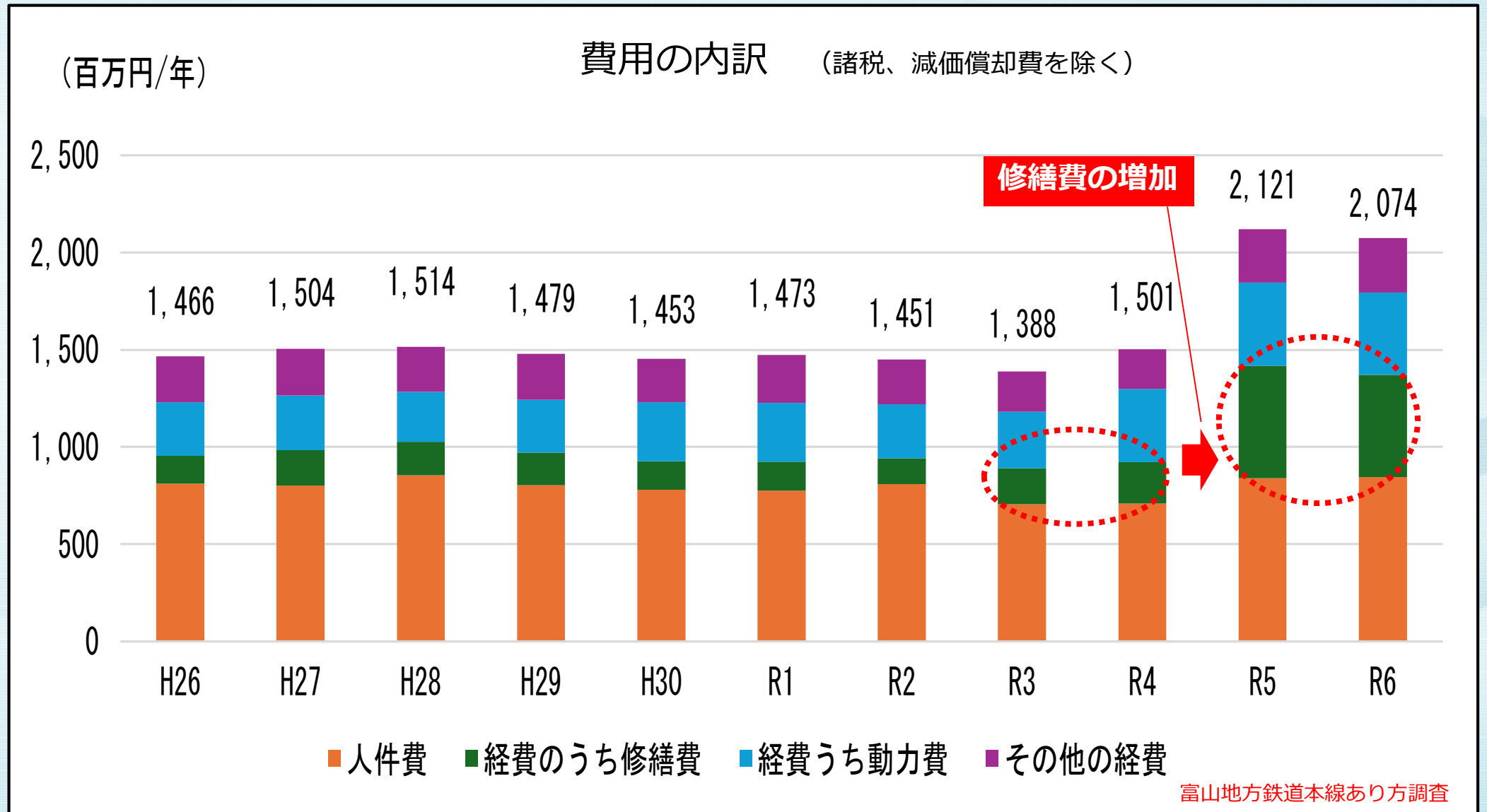
① 富山地方鉄道の路線図



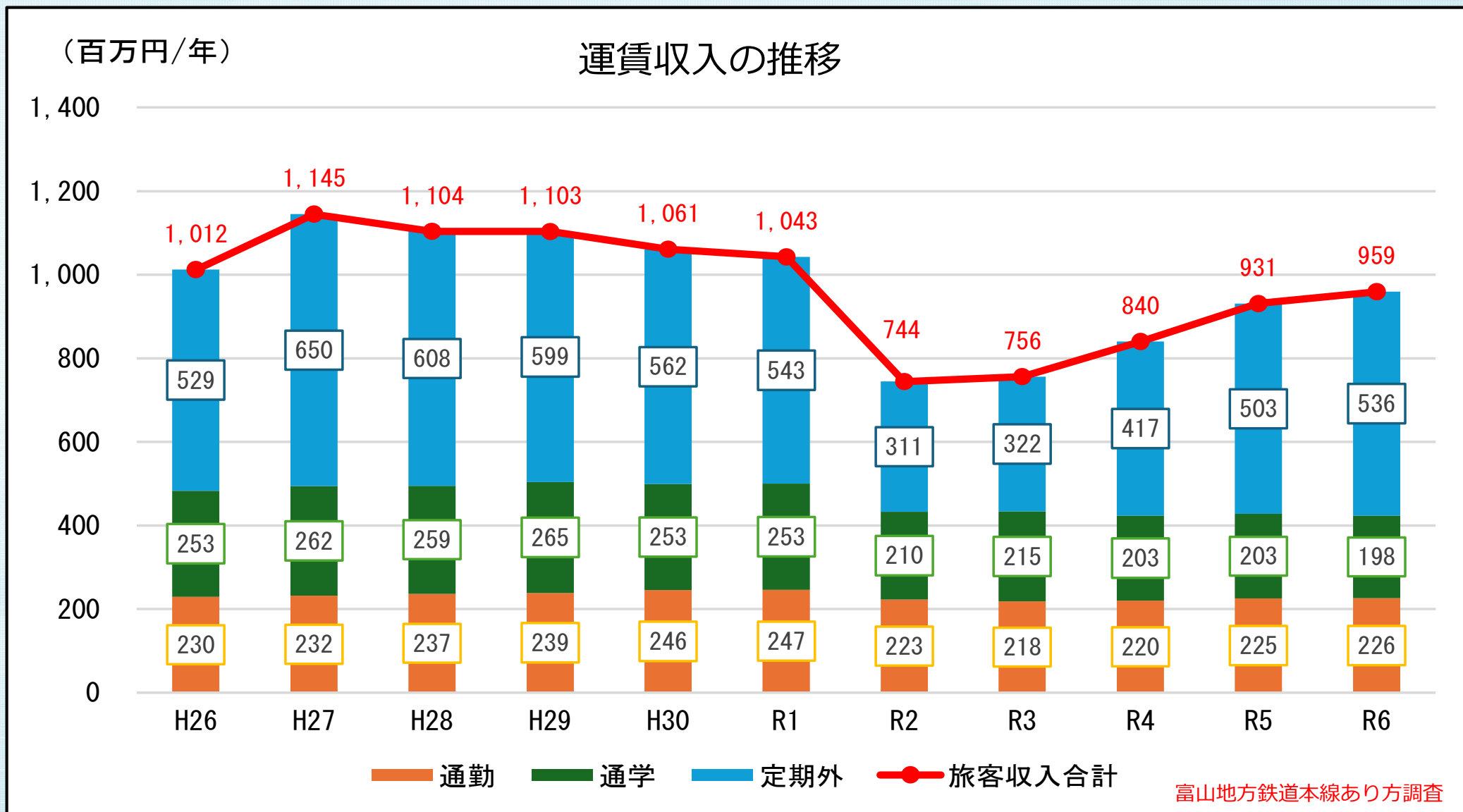
②富山地方鉄道(株) 鉄道事業の状況



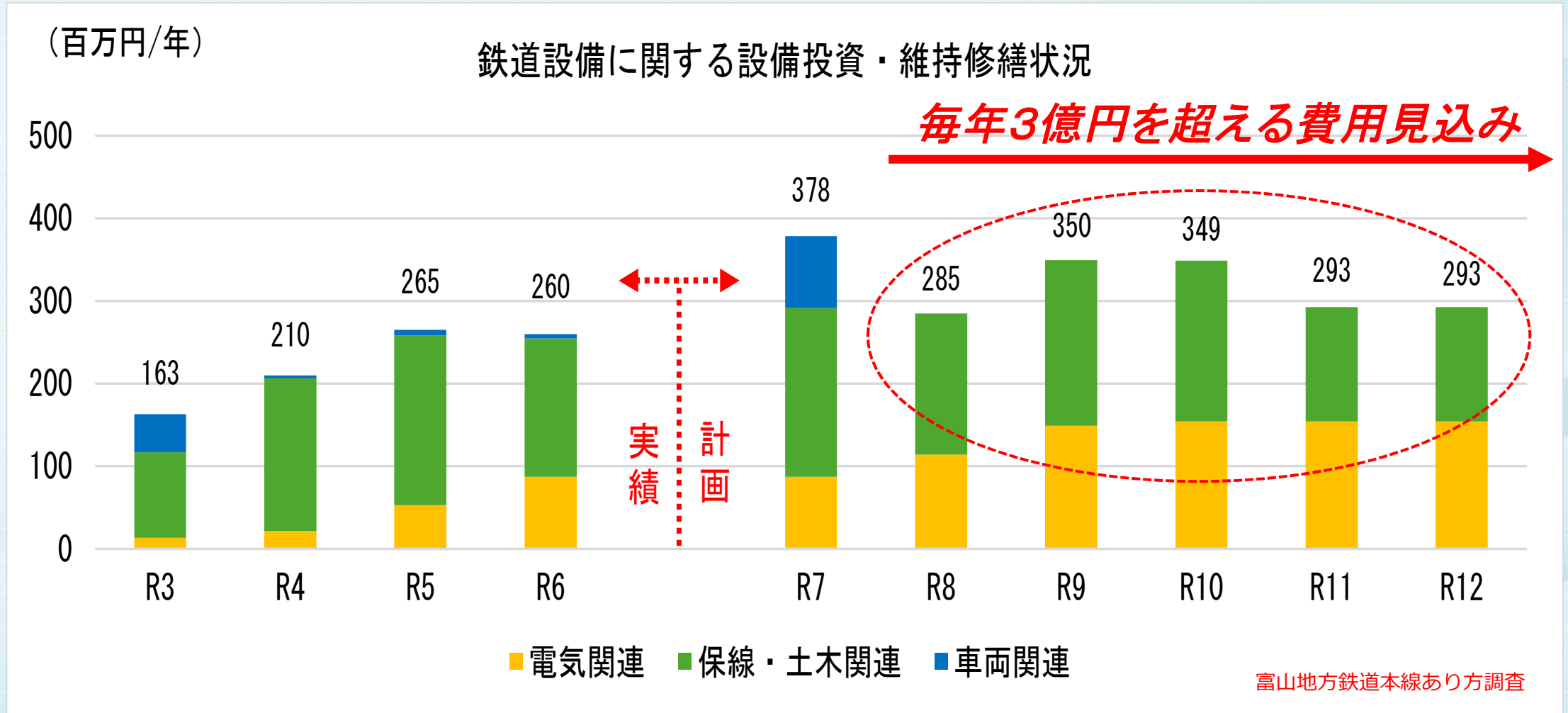
② 富山地方鉄道(株) 鉄道事業の状況



② 富山地方鉄道(株) 鉄道事業の状況



③ 鉄道インフラの整備・更新

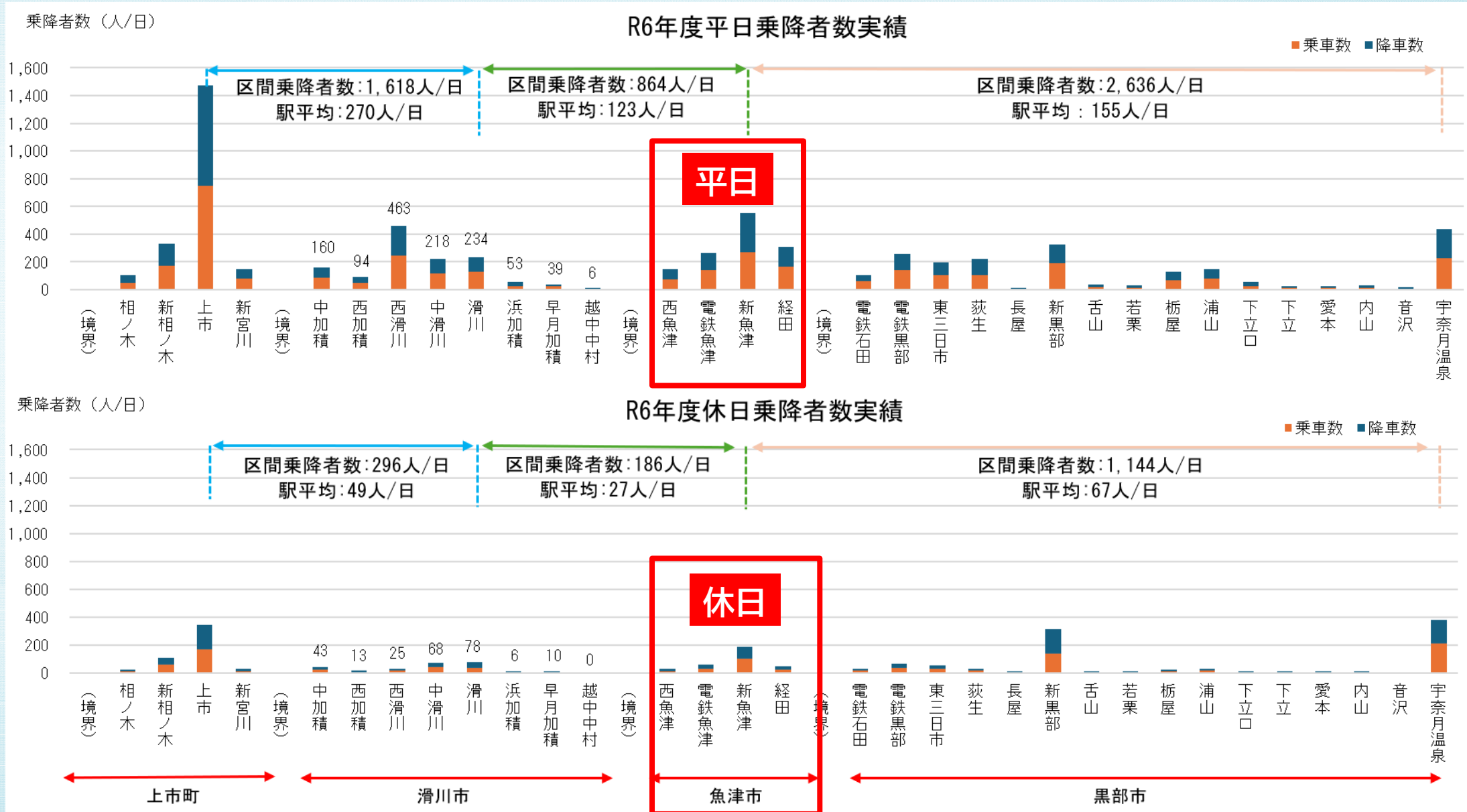


③ 鉄道インフラの整備・更新



④ 富山地方鉄道の利用状況

富山地方鉄道本線あり方調査



④ 富山地方鉄道の利用状況（魚津市内高校生）

富山地方鉄道沿線高校生へのアンケート結果（R7年度魚津市実施）

	越中荏原駅	上市駅	西滑川駅	新魚津駅	経田駅	電鉄 黒部駅	東三日 市駅	計
	富山第一高校	上市高校	滑川高校	魚津高校 新川高校	魚津工業高校 新川みどり野高校	桜井高校		
西魚津駅	1	1	18	4	5	0	6	35
電鉄魚津駅	19	5	25	0	5	1	15	70
新魚津駅	14	2	18	0	2	0	15	51
経田駅	3	2	10	0	0	0	5	20
計	37	10	71	4	12	1	41	176

魚津市内高校生の約20%が利用

④ 富山地方鉄道の利用状況（高校別）

▼ 高校生の地鉄・あいの風の利用者割合

高校別 富山地方鉄道利用者数

高校名	上市	滑川	魚津	魚津工業	みどり野	桜井	新川	合計
回答者数（人）	281	501	442	227	105	472	237	2,265
地鉄利用者（人）	190	219	75	74	24	73	33	688
割合	67.62%	43.71%	16.97%	32.60%	22.86%	15.47%	13.92%	30.38%
あいの風利用者（人）	7	102	224	42	20	151	125	671
割合	2.49%	20.36%	50.68%	18.50%	19.05%	31.99%	52.74%	29.62%

（出典 魚津市：令和7年度実施 富山地方鉄道沿線 高校生への通学アンケート）

小中学校 富山地方鉄道利用 明峰中学校 72名（生徒数532名） 割合13.16%

（令和7年度） 宇奈月小学校 32名（児童数136名） 割合23.53% ※宇奈月小は冬期利用含む

市内4校、1,011名中206名、約20%が地鉄を利用しています。

⑤ 運行パターンごとの検討

本線区間において、将来的に考えられる運行パターンやメリット・デメリット、利便性向上策などについて比較検討しました。

富山地方鉄道本線あり方調査

運行形態のパターン検討対象区間

あいの風とやま鉄道
並行区間

電
鉄
富
山

上
市

滑
川

新
魚
津

宇
奈
月
温
泉

運行形態のパターン	電鉄富山	上市	滑川	新魚津	宇奈月温泉
1 現行維持		維持	維持	維持	維持
2-1 並行区間廃止 (営業運行廃止)		維持	維持	廃止 (車両移動のみ)	維持
2-2 並行区間廃止 (運行廃止)		維持	維持	廃止 (車両移動なし)	維持
3 滑川止まり		維持	維持	廃止 (車両移動なし)	廃止 (車両移動なし)
4-1 新魚津-宇奈月温泉のみ運行 (上市~新魚津 営業運行廃止)		維持	廃止 (車両移動のみ)	廃止 (車両移動のみ)	維持
4-2 新魚津-宇奈月温泉のみ運行 (上市~新魚津 運行廃止)		維持	廃止 (車両移動なし)	廃止 (車両移動なし)	維持

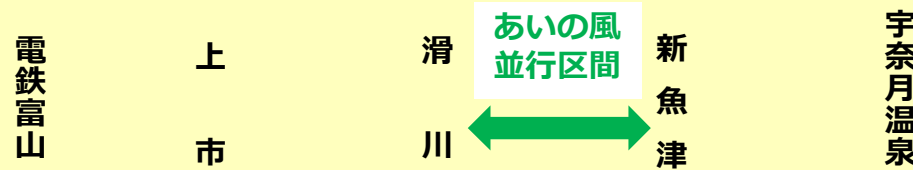
- (1) パターン1 (現行維持)
電鉄富山~宇奈月温泉間を現行のダイヤで運行を継続する
- (2) パターン2-1 (並行区間廃止・営業運行の廃止)
 - ①電鉄富山~滑川間を現行のダイヤで運行を継続
 - ②新魚津~宇奈月温泉間を現行のダイヤで運行を継続
 - ③滑川~新魚津間は車両検査のための回送に必要な鉄道線として残置
- (3) パターン2-2 (並行区間廃止撤去・運行の廃止)
 - ①②は上記(2)①②と同様
 - ③滑川~新魚津間は運行廃止
- (4) パターン3 (滑川止まり)
 - ①電鉄富山~滑川間を現行のダイヤで運行を継続
 - ②滑川~宇奈月温泉間は廃止
- (5) パターン4-1 (新魚津~宇奈月温泉のみ運行・上市~新魚津間は営業運行の廃止)
 - ①上市~新魚津間は廃止 (電鉄富山~上市間を現行のダイヤで運行継続)
 - ②新魚津~宇奈月温泉間を現行のダイヤで運行を継続
 - ③上市~新魚津間は車両検査のための回送に必要な鉄道線として残置
- (6) パターン4-2 (新魚津~宇奈月温泉のみ・上市~新魚津間は運行の廃止)
 - ①②は上記(5)①②と同様
 - ③上市~新魚津間は運行廃止

⑤ 運行パターンごとの検討

本線区間において、将来的に考えられる運行パターンやメリット・デメリット、利便性向上策などについて比較検討しました。

富山地方鉄道本線あり方調査

3パターンに絞って検討を進める。



運行形態のパターン	電鉄富山	上市	滑川	あいの風並行区間	新魚津	宇奈月温泉
1 現行維持		維持	維持	維持	維持	
2-1 並行区間廃止 (営業運行廃止)		維持	維持	廃止 (車両移動のみ)	維持	
2-2 並行区間廃止 (運行廃止)		維持	維持	廃止 (車両移動なし)	維持	
3 滑川～新魚津間廃止			廃止	廃止	廃止	

- (1) パターン1 (現行維持)
電鉄富山～宇奈月温泉間を現行のダイヤで運行を継続する
- (2) パターン2-1 (並行区間廃止・営業運行の廃止)
 - ①電鉄富山～滑川間を現行のダイヤで運行を継続
 - ②新魚津～宇奈月温泉間を現行のダイヤで運行を継続
 - ③滑川～新魚津間は車両検査のための回送に必要な鉄道線として残置
- (3) パターン2-2 (並行区間廃止撤去・運行の廃止)
 - ①②は上記(2)①②と同様
 - ③滑川～新魚津間は運行廃止

滑川⇔新魚津間

- 1. 現行維持(存続)
- 2-1. 運行とりやめ(回送あり)
- 2-2. 線路撤去

(第2回本線分科会) 3、4-1、4-2について、「検討をすすめることは適切でない。」

⑤ 運行パターンごとの検討

パターン別の10年間の費用（単位：億円）

パターン		施設管理	安全性向上	利用者増加	廃止の代替費	計
存続	1. 現行維持	80.6 <small>車両維持等</small>	27.5 <small>レール、枕木等</small>	27.8	—	135.9
	2-1. 並行区間の営業運行廃止	75.9	27.5	50.6 <small>代替バス運行等</small>	5.3	159.3
廃線	2-2. 並行区間の運行廃止	70.4	24.4	50.6 <small>上記+ 乗り換え用 跨線橋設置等</small>	32.5 ~ 34.8 <small>車両基地整備等</small>	177.9 ~ 180.2

ICカード対応
無料Wi-Fi
水族館駅新設
遠足利用等

10年後の営業収支（単位：億円）

パターン		計
存続	1. 現行維持	▲8.8
廃線	2-1. 並行区間の営業運行廃止	▲8.4
	2-2. 並行区間の運行廃止	▲7.4

※いずれのパターンも、今後、一定の行政負担が想定される。

(別途)
軌道、駅の
撤去費用
約15億円

⑤ 運行パターンごとの検討

パターン		鉄道ネットワークの視点	持続可能な鉄道運営の視点		利用者の視点	
存続	1. 現行維持	現行の鉄道ネットワークが維持される	人口減少をカバーする利用者増の取組が課題	▶ 経費は減少しない	▶ 大規模構造物（橋梁、高架、トンネル等）は、長期的な路線維持を考えたときには多大な費用が想定される（橋梁の架替等）	▶ 現状と変わらない移動が可能
	2-1. 並行区間の営業運行廃止	最低限の鉄道ネットワークが維持される（地域間の流動性は低下する）		▶ 経費は若干減少		▶ 廃止区間を除く大規模構造物は、長期的な路線維持を考えると多大な費用が想定される
廃線	2-2. 並行区間の運行廃止		▶ 車両回送のための鉄道線の存続は非効率だが、新魚津～宇奈月温泉間の運行に必要	▶ 路線維持にかかる経費は減少		
			▶ 新魚津～宇奈月温泉間に車庫や検車区等の新たな整備が必要となるなど、整備費や運用面における費用が上積される			

富山地方鉄道本線あり方調査

⑥ 魚津市から富山地方鉄道への支援について

・ 平成23年度から令和2年度まで（10年間） 計 42,983千円

・ 令和3年度から令和7年度まで（5年間） 計 59,702千円

・ 令和3年度 魚津市公共交通感染防止運行協力支援事業等	13,594千円
・ 令和4年度 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業等	8,057千円
・ 令和5年度 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業等	14,923千円
・ 令和6年度 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業等	10,521千円
・ 令和7年度 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業等	12,607千円

直近5年の平均：約12,000千円

⑥魚津市から富山地方鉄道への支援について

令和8年度の支援予定

- ・ 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業等 12,607千円
- ・ 富山地方鉄道ネットワーク維持補助金 13,000千円
富山地方鉄道の収支差の一部を公的負担して鉄道ネットワークを維持する。
負担割合：富山地方鉄道 1 / 3、県 1 / 3、沿線市町村 1 / 3（うち魚津市6.63%）
- ・ 富山地方鉄道鉄道線本線再構築検討調査事業 2,000千円
3つのパターン別の検討事項について精査する。
負担割合：国 1 / 2、県 1 / 6、沿線自治体 1 / 3（魚津市、滑川市、黒部市）

令和8年度の支援予定額：27,607千円

⑦本線のあり方について



令和9年度以降について

◎ **本線のあり方**について、富山県が主導し、**学識経験者も参画する新たな検討組織**が引き継ぐ

富山県「令和8年度上半期までに一定の方向性を示す。」

5月14日報道

「5月18日(月)に地鉄の再構築について協議する検討会の初会合を開催」(北日本新聞)

⑦本線のあり方について

★滑川－魚津間の並行区間を**存続する**場合

短期的に、毎年数千万円を超える行政負担が考えられる。

長期的には、長大橋梁（早月川、片貝川）など施設の補修・更新に数十億単位の費用が見込まれる。これらを行政負担することの是非について。

★滑川－魚津間の並行区間を**廃止する**場合

運行にかかる行政負担はなくなるものの、現在の利用者の利便性を損なわないような代替措置が必要となる。

⑦本線のあり方について

★滑川－魚津間の並行区間を**存続する**場合

短期的に、毎年数千万円を超える行政負担が考えられる。

長期的には、長大橋梁（早月川、片貝川）など施設の補修・更新に数十億単位の費用が見込まれる。これらを行政負担することの是非について。



利便性向上、利用促進のための方策を進め、利用者を増加させる

★滑川－魚津間の並行区間を**廃止する**場合

存続にかかる行政負担はなくなるものの、現在の利用者の利便性を損なわないような代替措置が必要となる。



通学、通勤、通院、観光等での地鉄利用者の代替移動手段の整備

⑦本線のあり方について（存続の場合）

パターン	施設管理	安全性向上	利用者増加	廃止の代替費	計
存続 1.現行維持	80.6	27.5	27.8	—	135.9

10年間の費用見込み（億円）

利便性向上、利用促進のための方策（例）

- Suica等の他社交通系 I C利用を可能とする機器配備
- 無料Wi-Fiの設置
- 新駅の設置
- 観光客にわかりやすい駅名に変更
- 小中学校遠足での地鉄利用
- 生涯学習活動等での地鉄利用散策メニューの追加 等

⑦本線のあり方について（廃止の場合）

	パターン	計
存続	1. 現行維持	135.9
	2-1. 並行区間の営業運行廃止	159.3
廃止	2-2. 並行区間の運行廃止	177.9 ~180.2

10年間の費用見込み（億円）

その他の課題

利便性向上のため、「あいの風とやま鉄道」への乗り入れには、初期投資として、約200億円の費用がかかる。【本線あり方調査最終報告】

廃止



通学、通勤、通院、観光等での地鉄利用者の代替移動手段の整備

代替バス運行費5.3億円が含まれているものの…

クロスセクター効果

公共交通を廃止した際に追加的に必要となる行政部門の代替費用と、運行に対して行政が負担する財政支出を比較することで把握できる多面的な効果

通学

通勤

観光

福祉

など

⑦本線のあり方について（廃止の場合）

パターン		計
存続	1. 現行維持	135.9
	2-1. 並行区間の営業運行廃止	159.3
廃止	2-2. 並行区間の運行廃止	177.9 ~ 180.2

廃止

通学、通勤、通院、観光等での地鉄利用者の代替移動手段の整備

クロスセクター効果

鉄道が
地域全体に与える波及効果

通学

通勤

観光

福祉

など

通勤でも市内外の多くの方が利用している

通院、買い物等で利用する高齢者等の移動手段の確保

市内外の多くの高校生等の移動手段（輸送力）の確保

県内高校再編の問題

観光で魚津市へ訪れる方の移動手段の確保

富山地方鉄道本線のあり方について

ご清聴ありがとうございました。

皆さまのご意見をお聴かせください。



アンケートにご協力ください。
本日回収または5月**31日（日）**まで
オンラインで回答できます。



魚津市役所都市計画課
地域交通係

TEL0765-23-1380